

「高血圧ゼロのまち」モデルタウン事業

第2期 募集要項



【概要】

2019年より実施された第Ⅰ期「高血圧ゼロのまちづくり」モデルタウン事業は、全国各地で多様な地域主体の取り組みが展開され、2024年度をもって終了いたしました。

このたび日本高血圧学会では、第Ⅰ期の成果を踏まえ、2025年度より第Ⅱ期「高血圧ゼロのまち」モデルタウン事業の募集を開始し、47都道府県すべてに、「高血圧ゼロのまち」モデルタウンを作り出すことを目標に掲げています。

本事業は、地域における高血圧対策を総合的に推進し、住民一人ひとりの健康寿命延伸を目指すことを目的としています。

【背景および目的】

高血圧は、脳卒中、心臓病、腎臓病の最大の危険因子であり、平均寿命や健康寿命を延ばすため、その予防と適切な血圧管理が極めて重要です。

高血圧は国内最多の疾患で、その数は約4300万人と推計されています。そのなかで適切に血圧が管理されているのは約1200万人にとどまります。残る3100万人には、治療をしても目標血圧に達していない人、自分が高血圧であることを知らない人、知りながら治療がされていない人も多く含まれ、注意が必要です。

そこで、日本高血圧学会ではこの状況を打破するため、地域医療創成の一環として、「高血圧ゼロのまち」を目指す自治体を公募し、支援することと致しました。

「高血圧ゼロ」を目指した自治体の新たな挑戦が、地域住民の健康長寿につながることを期待しています。

【方法】

自治体主導により、全住民、特定健診対象者(40-74歳)、職域集団、学校児童・生徒などを対象として高血圧の啓発、血圧測定、健診受診勧奨、生活指導(減塩、運動、禁煙など)介入などを行い、可視化した指標をアウトカムとして「高血圧ゼロ」を目指します。

下記に示すように、地域や対象者の方々の特性に合わせて、血圧測定・受診勧奨・減塩・運動・禁煙などの生活習慣改善などを通じて「高血圧ゼロのまち」を目指した取り組みを企画いただき、学会までご応募ください。健診や市民講座など従来の手法や取り組みにとどまらず、斬新なアイデアを取り入れた企画を歓迎いたします。

A.取り組みの具体的な内容(プロジェクト)案

- 1) 血圧未測定者ゼロ(全対象者の血圧測定を目指す)
- 2) 重症(III度)高血圧($\geq 180/110$ mmHg)ゼロ(受診勧奨、情報提供)
- 3) 薬物療法、非薬物療法(生活指導)いずれも受けていない「放置高血圧者」ゼロ
健診後の受診勧奨、生活指導とフォローアップ
- 4) 降圧目標未達成者ゼロ(降圧薬服用者に対する降圧目標の啓発、医療機関への働きかけ)
など

B.対象

- 1) 20歳(または18歳)以上の成人
- 2) 特定健診対象者(40-74歳)
- 3) 保育園児、小中高等学校の児童、生徒
- 4) 職域(企業、自治体職員など)
- 5) その他

C.介入内容

- 1) 血圧測定
- 2) 健診受診、医療機関受診勧奨
- 3) 食事(減塩)指導、介入
- 4) 運動、禁煙など生活習慣修正指導、介入
- 5) 服薬、通院アドヒアラランス向上
- 6) 高血圧に対する啓発(基準値、降圧目標などの認識度向上など)
- 7) その他

D.その他

原則として日本高血圧学会がプロジェクトメンバーとして加わり、企画、実施に対してアドバイスを行うこととします。審査後決定しましたプロジェクトのアドバイザーにつきましてはプロジェクトの主管団体と日

本高血圧学会が相談の上、決めさせていただきます。日本高血圧学会は「高血圧ゼロのまちモデルタウン」プロジェクトを後援し、企画策定と活動の助言を致します。

なお、日本高血圧学会は決定したプロジェクト実施にかかる資金提供はいたしません。

【期間】

活動期間: 2025 年～2030 年(3～5 年)

【公募期間】所定の申請書にご記入のうえ、ご提出ください

受付期間 : ① 2025 年 10 月 17 日(金)～2025 年 10 月 31 日(金)

② 2025 年 11 月 17 日(月)～2025 年 11 月 28 日(金)

③ 2025 年 12 月 17 日(水)～2025 年 12 月 26 日(金)

※以降、毎月 17 日～月末受付予定（2027 年 3 月末をもって第 2 期受付終了予定）

提出先 : 日本高血圧学会事務局 高血圧ゼロのまち担当 zero-town@jpnsh.jp

【審査】

提出された申請書類(申請書および取り組みに関する具体的な資料)を審査し、アドバイザーを決定させていただきます。

承認日 : ① 2025 年 11 月 17 日(月)

② 2025 年 12 月 17 日(水)

③ 2026 年 01 月 17 日(土)

※受理された場合、申請書を提出した日の翌月 17 日付で「承認書」を発行のうえ、送付いたします。

【公表】

受理された自治体ならびにプロジェクト名を HP で公開予定です。また、学術総会やフォーラム等でシンポジウムでの発表やポスター展示、サロン(交流会)の場を通じて紹介を行うとともに、進捗状況の報告会を設けます。

*活動状況を定期的に確認させていただくため、報告書の提出、総会での発表・展示等を行っていただく予定です。また、活発な取組みを行った自治体には、2030 年の秋ごろ(第 52 回日本高血圧学会総会を予定)に、「高血圧ゼロのまち推進賞」の表彰を行う予定です。

【Q&A】

Q1. 応募する自治体に条件がありますか？

主管する自治体の条件はありません。県、市町村などの単位で取り組めるプロジェクトを提案下さい。自治体の主管のもとに職域集団や児童、生徒などを対象としたプロジェクトを企画頂くことも可能です。

Q2. 高血圧学会のアドバイザーはどのようにして依頼すればいいですか？

企画の段階で協力、助言が得られる高血圧学会員がいればアドバイザー就任を依頼ください。日本高血圧学会のホームページに都道府県別の高血圧専門医の名簿が掲載されていますので、ご検討の参考にご覧いただくことができます。適切なアドバイザーがいない場合は、高血圧学会にご相談下さい。地域、取り組み内容などを考慮してアドバイザーを推薦させて頂きます。

Q3. アドバイザーからはどのような支援が受けられますか？

アドバイザーは、プロジェクトの立案、推進の支援、進捗状況の確認、データ分析、学術集会での発表や報告書作成の支援などを行います。

－お問い合わせ－

特定非営利活動法人日本高血圧学会 高血圧ゼロのまち担当

〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 28 番 8 号 日内会館 2 階 日本高血圧学会事務局

電話 03-6801-9786 Fax 03-6801-9787 Email: zero-town@jpnsh.jp

ホームページ https://www.jpnsh.jp/general_zero.html